土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一般国道　375号　道路災害防除事業に伴う測量調査設計業務委託（単独）

事業・工事名

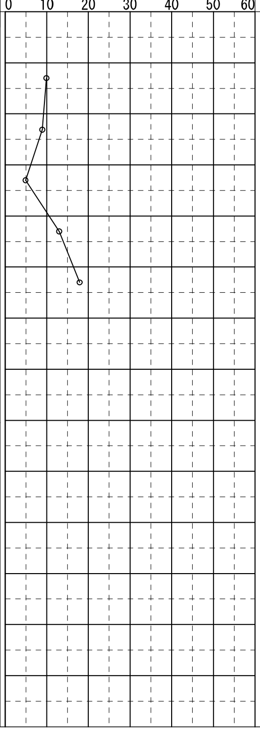
調査目的及び調査対象　道路　構造物基礎

ボーリング名	Boring No.3	調査位置	広島県三次市作木町	北緯	34°53’06.9091″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和5年 8月17日～ 令和5年 8月19日	東経	132°41’17.4422″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	TP 109.15m	角度	180° 上 / 下 0° 90° 0°	方向	北0° 東90° 南180° 西270°
総削孔長	9.00m	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 東邦D1B-58 / エンジン ヤンマーTF120V-E / ポンプ 東邦BG-3B

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
107.15	2.00	粘土混じり礫混じり砂		暗褐灰	rd2		地表面からGL-0.45mまで舗装 砂は中～粗砂を主体とする 径5cm以下の礫を30～50%混入する 部分的に礫を多く混入し砂礫状を呈す 全漏水
105.35	3.80	礫混り粘土質砂		暗褐灰	rd2		砂は細～中砂を主体とする 径3cm以下の礫を20～30%混入する 細粒土分を20～30%含有する 部分的に細粒土分が減少し礫混じり砂状を呈す 全漏水
103.80	5.35	礫混じり砂		暗褐	rd3		砂は中～粗砂を主体とする 径4cm以下の礫を20～40%混入する 細粒土分を10%程度含有する 全漏水
103.15	6.00	粘土混じり礫混じり砂		暗褐	rd3		砂は細～中砂を主体とする　全漏水 径3cm以下の礫を20～30%混入する
101.65	7.50	安山岩		青灰褐			CM級岩盤 L=5～10cmの短柱状コアで採取する 亀裂沿いは褐色に変色し、土砂～細礫化する GL-6.85m付近は土砂を挟み、径4cm以下の礫状コアとなる
100.15	9.00	安山岩		青灰褐			CH級岩盤 L=20～30cmの柱状コアで採取する コア肌はなめらか ハンマー打撃で金属音を発する 亀裂面は淡茶灰色に変色する

孔内水位／測定月日：8/19　8.05

標準貫入試験



N値	深度 (m)	0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
10	1.15～1.45	4	3	3	10/300		
9	2.15～2.47	3	3	3/120	9/320		
5	3.15～3.45	1	1	3	5/300		
13	4.15～4.45	4	4	5	13/300		
18	5.15～5.45	5	5	8	18/300		

試料採取（深度 (m)・試料番号・採取方法）：記載なし

室内試験：記載なし

削孔月日：8/17、8/18、8/19